

令和元年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部障害福祉課
評価対象期間	H31.4.1 ~ R2.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立陽光園
	所在地	美濃市立花1155-5
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。 ・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。)を行う業務。 ・施設の管理に関すること。 ・その他仕様書に定めること。 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H29	1,990
H30	1,997
R1	2,070

3 令和元年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	392,989
利用料金	391,288
指定管理料	0
そ の 他	1,701
支 出 計	377,808
人 件 費	272,096
施設管理費	37,636
そ の 他	68,076
差 引	15,181
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・短期入所利用者に対応する職員の充足を引き続き進めること。	・職員の充足に関しては、ハローワークを中心に、引き続き募集を実施している。地域性もあり、なかなか雇用が難しい状況だが、今年度は夜勤・変則可能な職員を2名雇用することができた。
・施設の立地条件や利用者の多様化など考えると、災害時などの事業維持の態勢はいま一度見直し体制を整えられたい。	・災害時の体制については、住所地である美濃市と相談を行っている。特に、土砂災害地域でありながらも、福祉避難所の機能を担うこととなっているため、福祉避難所開設訓練や、土砂災害時の対応等を話し合う機会を作るよう依頼した。自施設で対応できることとして、今年度は防災無線の増設・蓄電池(ソーラー)の購入・非常時ラタン等を多く購入し、万一のための対策を講じた。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアにニーズに応えるため、看護師の在勤する日中一時支援や入浴サービスで対応した。 ・職員研修が計画的に実施されている。 ・利用者と共に個別支援に取り組み、計画に沿った支援が行われている。 ・苦情相談も行われ、日常や将来の不安について傾聴を基本に助言されている。 ・利用者の重度化・高齢化は施設サービスの恒常化を招きがちであるので、地域共生社会の観点から、施設のあり方を考えること。
設置目的の充足状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引資格保持者の増員ならびに研修により吸引対応可能な職員を増員したこと。 ・広報、パンフレット、インターネットなどを活用して事業報告を家族会、施設運営委員会に配付している。 ・ほぼ満床で推移できている。 ・短期入所利用者に対応する職員の充足を引き続き進めること。 ・利用者の看取りについて、さらに検討を続けること。
公共性の確保の状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民・企業も参加する避難訓練を実施している。 ・事故報告・ヒヤリハット等の原因等について検証を進め、施設内に周知を図った。 ・「ゆとり時間」なども設け、個別な配慮がなされている。 ・BCPの見直し等を行い、施設の立地条件なども踏まえ災害など緊急時の対策整備に努めている。 ・疾病別の個別健康支援リストを作成し、日常ケアを充実させ、職員と利用者の情報共有を図っている。 ・地域社会との双方向の交流について、計画的に取り組むことを期待したい ・誤薬や転倒、転落等の事故報告がある。利用者の重度化、多様化などが背景にあると思われる。限られた資源のなかではあるが、利用者の安全と生活の充実の観点で体制を整えられたい。
経営状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・陽光園としての職員確保の活動に取り組んだこと等により、適正な範囲で収支が運用されている。 ・経費縮減に向けて努力されている。 ・自主事業については、今後の取り組みに期待する。 ・施設の目的達成の為に費用対効果の観点から収支の状況を見る必要がある。
派生的効果	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市のまんまる福祉村の事務局ならびに南部ふるさと福祉村の構成員として、地域の関係機関との連携に努めている。 ・地域の行事に参加し交流を深めることができた。 ・ボランティア、実習生の受け入れが出来ている。 ・地域の関係諸機関との連携をさらに広げることを期待する。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。 ・利用者と共に個別支援に取り組み、計画に沿った支援が行われている。 ・美濃市のまんまる福祉村の事務局ならびに南部ふるさと福祉村の構成員として、地域の関係機関との連携に努めている。 ・入所者それぞれのニーズに対応した適切な支援を行えるよう、引き続き検討を重ねていただきたい。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する